

平成27年度 租税教育実践事例（第6学年）

登米市立米岡小学校
教諭 佐藤 智之

1 小単元名「税金の働き」

2 本時の目標

- ・わたしたちの願いを実現し、豊かな社会を形成するために税金が使われていることを知り、わたしたちの暮らしと政治のつながりについて考える素地を養う。

3 本時の評価規準

- ・税金にはどんな種類があり、どのように使われているかについて進んで調べようとしている。

【関心・意欲・態度】

- ・税金は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解している。

【知識・理解】

4 指導にあたって

児童に税金について知っていることを発表させたところ、消費税、たばこ税、酒税など身近で聞いたことがあるものを連想することが分かった。次に、その税金が何に使われているのかを考えさせたところ、学校を作ったり、消防車を買ったりする、建物を作ったりするなどの考えが発表された。そうした税金を払うことについて聞いたところ、できれば払いたくないという意見が多数であった。大切なことは分かっているが、税金の必要性については、まだ十分には理解できていないことが分かった。そこで本時では、佐沼税務署職員の方をゲストティーチャーとしてお招きすることで、税金の実際について具体的に児童が学ぶことができるようにしていきたい。登米市の施設で、税金が使われているものがどれかを考えたり、1億円のレプリカを見たり持ったりすることを通して、お金のイメージをもてるようにさせていきたい。また、税金は取られるものというイメージが強いが、税金によって暮らしの安全や、豊かな生活が守られていることについて考えさせ、今後の生活について自己の考えをもつことができるようにしていきたい。






5 準備物

- ・写真カード（登米市の公共施設と民間施設の写真を準備する）、ノート、PC、DVDプレーヤー、大型テレビ、1億円のレプリカ

6 指導の流れ

1	税金にはどんな種類があるかを調べる。(家庭学習)
2	本時 わたしたちに暮らしと税金について考える。(社会)
3	納税の意義について自己の考えをもち発表する。(家庭学習・社会)

7 学習の流れ

段階	○主な学習活動 ・予想される児童の反応	□指導上の留意点 【評価】
導入	<p>○1億円のレプリカを見たり、持ったりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本物？ ・1億円は重い。 ・こんなにあるんだ！ <p>○本時の学習課題を考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">税金の働きについて考えよう。</div>	<p>□1億円のレプリカを見ることで、児童の意欲を高めることができるようにする。</p> 
展開	<p>○税金が使われている施設とそうでない施設について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市役所は税金が使われていると思う。 ・ショッピングセンターは、どちらかな？  <p>○税金がなかったら、どんな町になるかを考える DVD を視聴する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・橋が壊れても直してくれないなんて大変だ。 ・税金がないから最初はよいと思ったけど、かえって、いろんなものにお金がかかるなんて大変だと思った。 ・税金がないと、町が大変なことになると思いました。 	<p>□税金が使われている施設を、児童に実際に分けさせていくことを通して、主体的に考えることができるようにする。</p>   <p>□税金の意義を紹介する DVD の映像を見ることで、児童が税金の意義を理解することができるようにする。</p> 
終末	<p>○本時の感想をまとめ発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税金はないほうがよいと思っていたけど、ないととても困ることが分かりました。 ・払いたくない気持ちもあるけど、やっぱりはらわなくちゃと思いました。 	<p>【評価】 税金は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解している。【知識・理解】</p>

8 児童の感想

- ・税金がないと困ることがいっぱいあると感じた。
- ・税金がないと、教科書にお金がかかったり、橋も壊れたままだったりするから、大変だと思った。
- ・税金が使われている病院や、学校に税金が使われなかったら、高額のお金を払わなければならないで、払うのはいやな気持ちもあるけど、払わなければならないと考えました。
- ・私は、今日、税金のビデオを見て、税金がなくなると町が大変なことになるのが分かりました。だから税金は大切なんだと思いました。



9 成果と課題 ○成果 ●課題

○本時では、1億円のレプリカを見たり持ったりすることを通して、児童はお金について興味をもちながら学習することができた。また、後半のDVD視聴では、税金がないと町がどうなるかについて、分かりやすく理解することができた。こうした教具や資料を活用できたことにより、効果的な学びへと展開させることができた。

○言葉で税金の大切さを話しても、児童にとっては実感のないものになったかもしれない。しかし、本時のように、税金に携わっている方のお話を直接聞くことで、税金を納めることの大切さについて考えさせることができた。

●本時は、年間計画では3学期の予定であるが、租税教室の時期を調整したところ、11月に実施することになった。そのため、学習の前後のつながりが分かりにくくなってしまった面もあった。今後はさらに連携を図り、年間計画での位置付けを工夫しながら進めていけるようにしていきたい。

